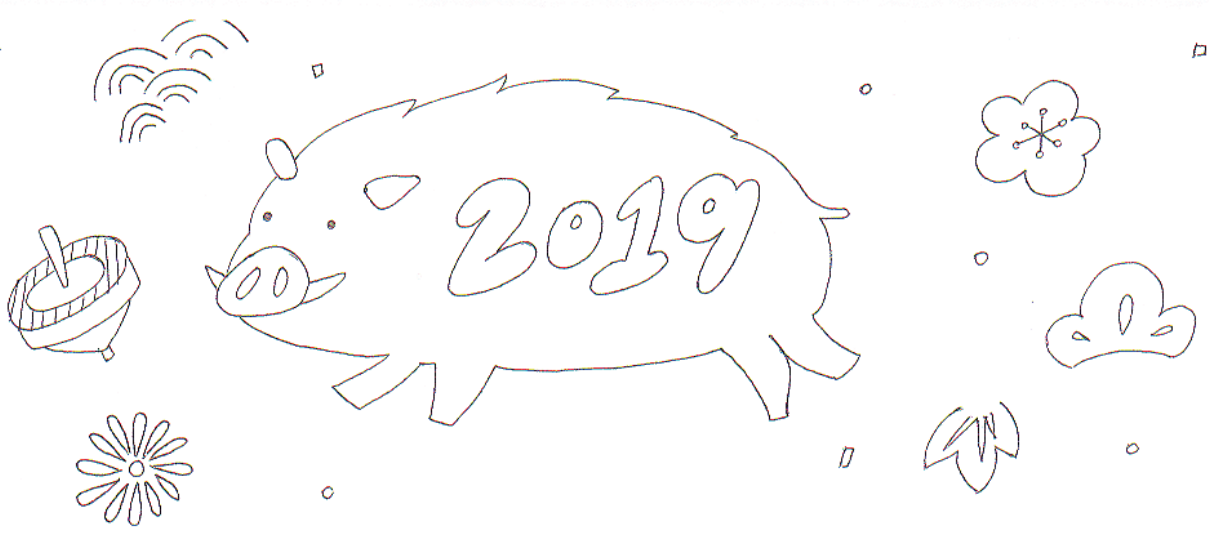


とよ・たち  
美肌通信  
1月号・vol.102



さいわい なおき



あけましておめでとうございます!

2019年のとびたち美航通信1月号の

表紙は、今年の干支である“亥”

とても大きく迫力があり、カッコイイ

後ろの富士山と初日の出で今年も1年

頑張ろう!と思わせてくれるような絵です😊

自転車に乗る事や、サッカーが大好きで、

おりがみや工作など物を作ったりする事も

得意な男の子が描いてくださいました。

ありがとうございます!

院長はじめスタッフ一同、びまり

感謝いたします。



2019年からスタートした。私事 昨年の秋に50歳を  
むかえた。50歳ともなると優に大人を越えている訳  
だが、未だに人間が形成されていない。一方で身体  
だけは希望しなくても確実に老いてしまう。何とか  
しなければいけない。

陰陽五行説の中では、人の一生を季節と色合いで  
4つに分け 青春・朱夏・白秋・玄冬と表現している。  
万人に共通し、人はこの何れかの季節を今生きているとい  
青春とは30歳までを指し、朱夏は50歳まで、白秋は  
70歳、それ以降が玄冬にあたるという。  
しかし単に年令で分けることは出来ない。これらの時  
期をどう受け留め、それぞれの季節をどう生きるか  
が大切だ”と思う。

出典は覚えていないが吉田松陰は、人は10歳で  
死んでも その人なりの人生の四季を生きている、と言  
っている。29歳の若さで生涯を終えた松陰自身  
も人生を全うしたのであることは疑われない。

平均寿命が45歳であった時代、50歳から天文学  
を学び日本地図を作成した伊能忠敬。

カーネルサンダースもまた、65歳という年齢から現在に至る会社を起業している。

86歳の時に松下政経塾を開塾した松下幸之助は当時、5年後に育つ人物に思いを馳せたと語る。

これらの先達はそれぞれの人生の四季を士堪能し旅立った人なのであろう。人生の四季をどう生きるか。

こんな計算をしてみた。自分の残りの人生を、一日(24時間)で例えたら50歳の自分は今、何時なのだろうか。

日本人男性平均寿命81.09/2017年現在、から約80歳として計算したら何と今の自分は、午後3時だった。自分の命はあと9時間しかないことが分かった。大変なことだ。一所懸命に命の炎を火然やさなければならぬ。チコちゃんに「ホーッと生きてんじやねえよー!!」と叱られない様に。

院長、拝